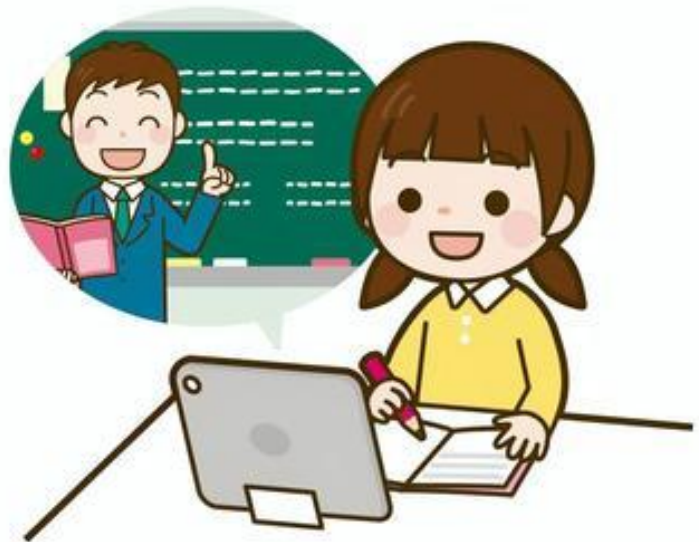


か て い が く し ゅ う て び
家庭学習の手引き



ぎ ふ し り つ ぎ ふ し ょ う が っ こ う
岐阜市立岐阜小学校

目 次

1. 目 次	P 1
2. 「家庭学習」の考え方	P 2
3. 「宿題」→「家庭学習」転換概要	P 3
4. 低学年期の「家庭学習」	
(1) 1年生「家庭学習」行い方	P 4
(2) 2年生「家庭学習」行い方	P 5
5. 中学年期の「家庭学習」	
(1) 3年生「家庭学習」行い方	P 6
(2) 4年生「家庭学習」行い方	P 7
6. 高学年期の「家庭学習」	
(1) 5年生「家庭学習」行い方	P 8
(2) 6年生「家庭学習」行い方	P 9
7. 岐阜小学校らしい「自主学習」	P 10

岐阜小学校「家庭学習」の考え方

岐阜小学校では「社会の急激な変化を乗り越え未来を切り開いていく力」が求められる今、子どもたちには、その学力基盤として「自ら進んで学ぶ力」を育成することが大切だと考えました。これは学校の授業だけでなく、家庭での学習においても培いたい力です。

家庭で時間を決めて、自分から学習することが当たり前になることで、学習効果の向上と、学びに向かう姿勢を育まれます。苦手なところや、分からないところを中心に復習することで、基礎学力の定着が図られます。次の授業の予習をすることで、学習意欲や自信が高まる効果があります。

自分自身で課題をもって取り組むことで、目的に合った「学び方」の向上や各教科の見方や考え方の広がりや深まりをもたらし、一人一人の可能性を広げることにつながられます。

そこで、家庭での学習については、令和4年度からは「やらされている」と思いがちな「宿題」という言葉は用いないようにし、「家庭学習」と呼んでいくことにしたいと思います。また、学年ごとに「家庭学習」を例示しながらもできるだけ画一的な（一律の）課題を出すことは避け、児童一人一人が自分のためになる学習に取り組むようにしたいと思います。

「家庭学習」の主体は、あくまでも家庭（児童本人・保護者）となります。学校では、家で勉強していないこと（宿題忘れ）を叱ったり咎めたりすることをなくし、児童理解の一環として、家庭での学習習慣や学習内容を認め励ますようにしていきます。そして、今まで提出された「宿題」点検に目を向けていた時間を、子ども一人一人に寄り添い向き合う時間へと転換します。

大胆な変化だと感じられるかもしれませんが、本来の役割を整理した上で「児童の成長最優先」で考えたことと、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

「学校からの宿題」→ 自主性重視の「家庭学習」への転換（概要）

◆ 低学年（１，２年生）「家庭学習」

- ・ 目標は「家で勉強する習慣を身に付けること」です。目標時間は約３０分です。
- ・ 基礎的な学力を身につけるという観点から、漢字ドリルや計算ドリル、音読カード等を有効に活用することを推奨します。
- ・ 最初の５分間を集中して取り組めるようになると、学習に対する集中力と粘り強さが高まります。
- ・ 学習環境づくりは、保護者の責任です。お子さん任せにすることなく、学習環境を整える働きかけをしましょう。そして、お子さんが家庭学習に取り組み始めたことを、必ず見届けましょう。
- ・ 答え合わせ（マルつけ）は、保護者の仕事です。できたことは大いに褒め、つまづいたときには優しくアドバイスして、できるまで寄り添いましょう。そうすることで、どんどん勉強が好きになっていきます。

◆ 中学年期（３，４年生）「家庭学習」

- ・ 目標は「自主性と持続力を身に付けること」です。目標時間は約４５分です。
- ・ 「自主学習」にも少しずつ取り組ませて下さい。まずは、その日の授業の復習などから始め、自分のやりたいこと、調べたいことなどを、親子で一緒に考えて下さい。
- ・ 最初の１０分間を集中して取り組めるようになると、学習に対する集中力と粘り強さが高まります。
- ・ 学習環境は、自分でつくるようにしたいものです。ここでの保護者の仕事は、見届けることです。お子さんが家庭学習を始めるまで見届けてください。学習場所を、お家の方から見える場所にすると効果的です。
- ・ 答え合わせ（マルつけ）は、自分でできるようにしたいものです。保護者の仕事は、間違えた問題を、確実にやり直しているかどうかを見届けることです。やり直しをすることで着実に学力は向上します。

◆ 高学年（５，６年生）「家庭学習」

- ・ 目標は「課題設定力と持続力を身に付けること」です。目標時間は約６０分です。
- ・ 進んで「自主学習」に取り組めるようにしたいものです。また、いろいろな教科の学習について興味をもてるように、工夫を凝らして勉強させてください。保護者として積極的に相談に乗ることも、学習意欲を向上させることにつながります。
- ・ 最初の２０分間を集中して取り組めるようになると、学習リズムが身に付き、集中して長時間学ぶ力が身に付きます。
- ・ 自分で「学習環境」づくりができることが大切です。保護者の仕事は、見守ることです。中学年期までできていたことが、できなくなることもあります。確実な定着のために、見守りをお願いします。
- ・ 答え合わせ（マルつけ）は、自分でします。保護者の仕事は、間違えた問題を確実にやり直しているかどうかを見届けることです。やり直しすることで、着実に学力は向上します。

ねんせい がく 1年生「かてい学しゅう」の おこないかた

～ べんきょうの じゅんぴは ひとりで できるよ ～

めあて

- ① いえにかえったら、きまったじこくに べんきょうを はじめましょう。
- ② まいにち、かならず べんきょうを しましょう。
- ③ べんきょうは、テレビや どうがを 見ないで やりましょう。

「かていがくしゅう」のまえに

- ・ 学こうからの おたよりは、おうちの 人に わたしましたか。
- ・ べんきょうする ばしょは、かたづいて いますか。
- ・ しせいや えんぴつの もちかたは、正しいですか。



「かていがくしゅう」の ないようや ほうほう (れい)

- ① 音どくの れんしゅう
 - ・ 大きな 口を あけて よみましょう。
 - ・ すらすら よめるように なるまで れんしゅう しましょう。
- ② も字の れんしゅう (ひらがな、カタカナ、かん字)
 - ・ ドリルや れんしゅうちょう、スタディ・サプリの もんだいを よくよんで やりましょう。
 - ・ お手本の 字の かたちを よく見て、ていねいに こく かきましょう。
「とめる」「はねる」「はらう」に 気をつけて かきましょう。
- ③ さんすうの もんだいを とく
 - ・ けいさんカードや けいさんドリル、スタディ・サプリーや プリントなどの もんだいを やりましょう。

「かていがくしゅう」のあとに

- おうちの 人に やったことを見せ、まるをつけてもらったり、こたえあわせを してもらったり しましょう。
- つぎの 日の じかんわりを たしかめ、きょうかしよや ノートを ランドセルに 入れ、じゅんぴを すませましょう。



2年生「家てい学しゅう」の行い方

～ 言われなくても 自分でできるよ ～

めあて

- ① 家に帰ったら、きまった時こくにべん教をはじめましょう。
- ② 毎日、かならずべん教をしましょう。
- ③ べん教は、テレビやどう画を見ないでやりましょう。

「家てい学しゅう」の前に

- ・ 学校からのおたよりは、お家の人にわたしましたか。
- ・ べん教する場しょは、かたづいていますか。
- ・ しせいやえんぴつのもちかたは、正しいですか。



「家てい学しゅう」の内ようや方ほう (れい)

① 音読のれんしゅう

- ・ 大きな口をあけて、すらすら読めるようになるまで、れんしゅうしましょう。
- ・ お家の人に聞いてもらいましょう。

② かん字のれんしゅう

- ・ かん字ドリルやスタディ・サプリの学しゅうをしましょう。
- ・ 読み方やおくりがなも、たしかめましょう。
- ・ 「とめる」「はねる」「はらう」に気をつけてていねいに書きましょう。

③ 算数のもんだいをとく

- ・ 計算ドリルやスタディ・サプリ、プリントなどのもんだいをときましょう。
- ・ やりおわったら見直し、お家の人に答え合わせをしてもらって、まちがえたところはやり直しましょう。

④ 日記を書く

- ・ 日にちを書いて、心にのこったできごとをくわしく書きましょう。

「家てい学しゅう」のあとに

- お家の人にやったことを見せ、答え合わせをもらいましょう。
- 時間わりをたしかめ、つぎの日のじゅんびをしましょう。



3 年生「家庭学習」の行い方

～ 時間いっぱい 集中できるよ ～

めあて

- ① 家に帰ったら、決まった時刻に勉強を始めましょう。
- ② 毎日30分以上は、がんばって勉強をしましょう。
- ③ 授業の復習以外にも、できそうな学習に挑戦しましょう。

「家庭学習」の前に

- ・ 学校からのおたよりは、家の人にわたしましたか。
- ・ 勉強する場所は、かたづいていますか。
- ・ しせいやえんぴつの持ち方は、正しいですか。



「家庭学習」の内ようや方ほう (れい)

- ① 音読の練習
 - ・ 文章をすらすら読めるように練習し、家の人に聞いてもらいましょう。
- ② 漢字の練習
 - ・ 漢字ドリルやスタディ・サプリーなどで学習し、ていねいに書きましょう。
 - ・ やり終わったら見直し、家の人に答え合わせをしてもらったり、自分で答え合わせをしたりして、まちがえたところはやり直しましょう。
- ③ 短歌や俳句
 - ・ 短歌や俳句を音読したり、暗しょうしたり、自分でつくったりしてみましょう。
- ④ 算数の問題をとく
 - ・ 教科書の練習問題、計算ドリルやスタディ・サプリーなどの問題をときましょう。
 - ・ やり終わったら見直し、家の人に答え合わせをもらったり、自分で答え合わせをしたりして、まちがえたところはやり直しましょう。
- ④ 社会・理科などのよう点まとめ
 - ・ 教科書の大切なところを、ノートに写したり、まとめたりし、スタディ・サプリーの問題をときましょう。

「家庭学習」の後に

- 家の人にやったことを見せ、コメントや◎○△等の評価をもらいましょう。
- 時間わりをたしかめ、次の日のじゅんぴをしましょう。



4年生「家庭学習」の行い方

～ 自分で見つけ 勉強ができる ～

めあて

- ① 家に帰ったら、決まった時刻に勉強を始めましょう。
- ② 毎日40分以上は、がんばって勉強をしましょう。
- ③ 授業の復習以外にも、自主的な学習にも取り組みましょう。

「家庭学習」の前に

- ・ テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ・ 勉強する場所は、きれいに片付いていますか。
- ・ 姿勢や鉛筆の持ち方は、正しいですか。



「家庭学習」の内容や方法 (例)

- ① 音読の練習
 - ・ 文章をすらすら読めるように練習し、家の人に聞いてもらいましょう。
- ② 漢字の練習
 - ・ 漢字ドリルやスタディ・サプリで学習し、正かくにしていねいに練習しましょう。
- ③ ことわざや故事成語
 - ・ 国語じてんを使って、ことわざや故事成語の意味を調べたり、それを使って短文を作ったりしてみましょう。
- ④ 算数の問題
 - ・ 教科書の練習問題、「算数の練習」、スタディ・サプリ、ぎふウェブラーニングなどの問題をとき、やり終わったら見直し、自分で答え合わせをして、まちがえたところはやり直しましょう。
- ④ 社会・理科・音楽などの要点まとめやおさらい
 - ・ 教科書の大切なところを、ノートに写したり、まとめたりし、スタディ・サプリの問題をときましょう。
 - ・ 都道府県の場所と名前を覚えたり、リコーダーの練習をしたりしましょう。

「家庭学習」の後に

- 家の人にやったことを見せ、コメントや◎○△等の評価をしてもらいましょう。
- 時間割を確かめ、次の日の準備をしましょう。



5 年生「家庭学習」の行い方

～ 自分で 計画を立て やりぬく ～

めあて

- ① 家に帰ったら、決まった時刻に勉強を始めましょう。
- ② 毎日50分以上は、自分に合った学習をしましょう。
- ③ 自分で、自分の力をつけるために、自主的な学習にも取り組みましょう。

「家庭学習」の前に

- ・ テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ・ 勉強する場所は、きれいに片付いていますか。
- ・ 姿勢や鉛筆の持ち方は、正しいですか。



「家庭学習」の内容や方法 (例)

- ① 音読練習
 - ・ 漢字を含め、文章をすらすら読めるように練習しましょう。
- ② 漢字練習
 - ・ 漢字ドリルやスタディ・サプリーで学習し、正確に覚えていないに練習しましょう。
 - ・ 新出漢字や苦手な漢字を熟語で練習しましょう。
- ③ 算数の計算問題・文章題・図形問題を解く練習
 - ・ 教科書の練習問題、「算数の練習」、スタディ・サプリー、ぎふウェブラーニングなどの問題を解き、やり終わったら見直し、自分で答え合わせをして、間違えた問題はやり直しましょう。
- ④ 社会・理科の要点整理
 - ・ 教科書の大切なところを、ノートに写したり、まとめたりし、スタディ・サプリーの問題をときましょう。
- ⑤ 授業の復習や予習
 - ・ その日や次の日の教科書の内容を読んで、ノートにまとめてみましょう。
- ⑥ 自主学習
 - ・ 既習内容や生活経験、社会的事象等の興味・関心をもったことについて、調べたりまとめたりして、他の人にも伝えられるようにしましょう。

「家庭学習」の後に

- 自分の学習を振り返り、家の人にも伝えて、コメントや◎○△等の評価をしてもらいましょう。
- 時間割を確かめ、次の日の準備をしましょう。



6年生「家庭学習」の行い方

～ 60分以上 集中して 力をつける ～

めあて

- ① 家に帰ったら、決まった時刻に勉強を始め、集中して学習しましょう。
- ② 毎日60分以上は、自分にふさわしい学習をしましょう。
- ③ 中学校進学に向け、自分の力をつけるために、自主的な学習にも取り組みましょう。

「家庭学習」の前に

- ・ テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ・ 勉強する場所は、きれいに片付いていますか。
- ・ 姿勢や鉛筆の持ち方は、正しいですか。



「家庭学習」の内容や方法 (例)

- ① 音読練習
 - ・ 漢字を含め、文章をすらすら読めるように練習しましょう。
- ② 漢字練習
 - ・ 漢字ドリルやスタディ・サプリーで学習し、正確に覚えていないものに練習しましょう。
 - ・ 新出漢字や苦手な漢字を熟語で練習しましょう。
- ③ 算数の計算問題・文章題・図形問題を解く練習
 - ・ 教科書の練習問題、「算数の練習」、スタディ・サプリー、ぎふウェブラーニングなどの問題を解き、やり終わったら見直し、自分で答え合わせをして、間違えた問題はやり直しましょう。
- ④ 社会・理科の要点整理
 - ・ 教科書の大切なところを、ノートに写したり、まとめたりし、スタディ・サプリーの問題をときましょう。
- ⑤ 授業の復習や予習
 - ・ その日や次の日の教科書の内容を読んで、ノートにまとめてみましょう。
- ⑥ 自主学習
 - ・ 既習内容や生活経験、社会的事象等の興味・関心をもったことについて、調べたりまとめたりして、他の人にも伝えられるようにしましょう。

「家庭学習」の後に

- 自分の学習を振り返り、家の人にも伝えて、コメントや◎○△等の評価をしてもらいましょう。
- 時間割を確かめ、次の日の準備をしましょう。



岐阜小学校らしい「自主学习」について

各学年のページ（「家庭学習」の行い方）では、主に学習習慣や基礎学力の定着に向けた「学童期の標準的な家庭学習の在り方」を例示しました。ここでは、岐阜小学校の子供たちに期待したい「家庭学習」に踏み込んでみたいと思います。

1 本校児童の実態（「全国学力・学習状況調査」結果）より

岐阜小学校6年生の平均正答率は、国語・算数（・理科）ともに、全国平均を大きく上回る結果が続いています。また、「家での勉強」に関わる質問紙調査からは、次のような傾向が本校では見られます。

- ・ 「1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の項目で、「1時間より少ない」子の割合が3割以下で、全国平均より約10ポイント少ない。
- ・ 「学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか」の項目で、「学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を教わっている」と答える子の割合が、全国平均より5ポイント以上多い。
- ・ 「1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」の項目では、視聴時間が多い子の割合が全国平均よりも随分少ない。
- ・ 「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか」（複数選択）の項目では、「家で勉強や読書」「学習塾などで勉強」「習い事」と答える子の割合が、全国平均を上回っている。

岐阜小学校の6年生は、学習習慣や基礎学力が定着している子が多く、「習い事に時間を要する子」も少なくないことが分かります。そこで、学校からの課題や授業の復習以外に、学習塾や家庭教師との勉強など、各家庭で考えた習い事の時間も「家庭学習」と捉えて、取り組んでもらってよいと考えます。

2 個人用タブレット端末（学習支援ソフト）の活用

岐阜小学校では、一人一人が自分の進度や課題を考えて個人用タブレット端末（iPad）を活用した「スタディ・サブリ」や「NEW! GIFU Webラーニング」等の取組を推奨します。

岐阜市教育委員会が導入した「スタディ・サブリ」は、「子どもたちが主体的に学ぶことができる教材」として先行実施された実証校では、次のような声が児童から寄せられています。

- ・ 自分のペースで進めることができるから楽しい。
- ・ わからないところがあれば授業動画を見直して取り組めるから便利。
- ・ どうしてもわからないところは自分のタイミングで先生に聞いたり学び合いで解決したりできるからよく理解できる。

自分のペースで、学び進める学習スタイルの「自由進度学習」として、いつでも、どこでも、学びを進められる「スタディ・サブリ」は、子どもたちに有効に働き始めているようです。

また、算数科については、岐阜県教育委員会による児童生徒の学びを支援する学習教材である「NEW! GIFU Webラーニング」が充実しています。こちらも、有効に活用していけるとよいと思います。



こうした「学習支援ソフト」の選択・判断も「進んで学ぶ力」の育成に繋がると考えます。

3 様々な体験・練習 + 言語化（対話や記録等）

勉強というと、机に向かって行う「座学」をイメージしがちですが、岐阜小学校の考える「家庭学習」は、それに限ったものではありません。教科・領域のいろいろな授業に関する内容から、個人的な興味・関心による内容、夢や目標に繋がる内容などを、考えてみたいものです。しかし「活動あって学びなし」という言葉を耳にすることがあるように、「単なる体験」で終わってしまえば「家庭学習」と呼ぶには、物足りないものになってしまいます。体験活動に家族や友達との「対話」や「感じたこと、分かったこと、考えたこと」を文章（メモ程度でOK）に記録するなど、言語化することで“学び”へと発展していくものと思います。自分に必要なもの、自分に相応しいこと、自分らしい「家庭学習」を、創意工夫して行っていけるようにすることこそが「自ら進んで学ぶ力」の育成に結びついていくと思います。



Ex.

- ・ 生活科の授業で習ったこと（自然見つけ、栽培や飼育等）の実践
- ・ 家庭科の授業で習ったこと（裁縫、調理、買い物等）の家庭での実践
- ・ 音楽科の授業で習った実技（歌・鍵盤ハーモニカ・リコーダー等）の練習
- ・ 図画工作科の授業で習った実技（絵画や工作等の造形）の復習や発展
- ・ 体育科の授業で習った実技（縄跳びや一輪車等の用具を使った運動、マットや鉄棒等の器械運動、走・跳・投の運動、家族や友達とのボール運動、リズムダンスなど）の練習
- ・ 季節を見つけたり感じたりする自然観察や体験活動
- ・ 社会で起きた出来事についてのディスカッションや調査
- ・ 親子で、同じ本を読んだり、同じ映像を見たりしての感想交流
- ・ 地域にある商店、施設、官庁、寺院、神社等へのお出かけ
- ・ 地域の人々へのインタビュー活動
- ・ 地域行事への参加



※ 「ふるさと教育」に力を入れている岐阜小学校の、校区には学習素材が山積しています。お子さん本人や各ご家庭で興味・関心をもったことには、進んで動いて“学び”に繋がれるとよいと思います。

また、各学年の実態に応じて「学校からの課題」を出すこともありますし、担任の作成した「音読カード」や「家庭学習カード」などの提出を求めることもあります。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。